

防災訓練実施記録		施設長	庶務課長	支援課長	支援係長	担当者
実施日時	令和7年 9月29日月曜日 10:00～12:00					

1 電気・水道・ガスが使用できなくなった事を想定し、訓練を行う。

2 参加人員

男性職員2名、女性職員2名

3 実施要領

(1) 事前に、支援会議などで備蓄物品の保管場所を周知しておく。

(2) 防災訓練当日、前川職員が10時に放送を掛ける「只今、電気・水道・ガスが使用できなくなりました。今から名前を呼ぶ職員は大至急食堂にお集まりください」と、当日抜き打ちで招集をかける。

(3) 名前を呼ばれた職員に、昼食の準備をして頂く。

ア) ご飯については備蓄食を使用（カレーについては厨房に提供して頂く）

備蓄米・ガスコンロ・鍋・使い捨て容器・手指消毒液・手袋・帽子・エプロン・備蓄水を保管場所より用意する。



イ) 備蓄米を温めるために、鍋に備蓄水を入れてガスコンロで加熱。





ウ) 手袋・エプロン・帽子を着用し、温めた備蓄米を容器に盛り付ける。
※各人の食事量も配慮して盛り付ける。



エ) ご飯を入れた容器を厨房カウンターに並べ、厨房でカレーを注いで
頂き、厨房で用意した副食と共に利用者さんに提供する。



4 訓練に参加して、感想や改善点など。

○今回は厨房でご飯のみ炊けなかったという設定での訓練だったため、用意するのはご飯のみだったので、特に問題はなく準備することができた。

○米を容器に盛り付ける際、初めは割りばしを使用してみたが、米がくっついて盛り付けしづらかったため、途中から使い捨てスプーンで盛り付けた。スプーンを濡らしながら盛り付けたら、よりスムーズに盛り付けることができた。

○訓練で経験することで、災害時の動きをイメージすることができた。

防災訓練実施記録		施設長	庶務課長	支援課長	支援係長	担当者
実施日時	令和7年10月1日水曜日 14:30～15:15					

1 全職員に対し、災害による施設停電時の発電機操作要領を教育し、発電機操作要領の理解と防災意識の高揚を図る。

2 参加人員

男性職員 5名、女性職員 4名

3 実施要領

(1) 操作手順書により、展示・説明、職員の代表者による発電機操作の実施、質疑・応答を行う。

(2) 操作手順書

ア 災害時用発電機停電操作手順 別紙第1

イ 災害時用発電機復電操作手順 別紙第2

(3) 発電機操作要領の実施状況

ア 本教育の実施要領を説明



イ 発電機操作要領の展示・説明



ウ スタートスイッチを「始動」



エ スロットルスイッチを「運転」位置



オ 電源切替盤のレバーハンドルの操作要領（切り替えレバーの位置確認）



カ 分電盤の負荷制限（ブレーカー操作）箇所の確認



4 じ後への反映

- (1) 発電機の見やすい位置に操作手順書を貼り、操作順に操作箇所に番号を貼る。
- (2) 災害時の分電盤ブレーカー（ON）に（青）表示の他、「（青）表示をONにする」の貼り紙を貼る。
- (3) 発電機の操作カギの保管場所を出し易い場所に変更する。
- (4) 教育未実施職員に対し、補備教育を計画する。